

# 道路空間を活用した EV路上カーシェアリング社会実験 第6回協議会

## 社会実験内容

令和8年3月

近畿地方整備局 大阪国道事務所

# 1. 社会実験の背景

- EV路上カーシェアリング社会実験により社会受容性等を把握し、今後の水平展開により、環境負荷軽減を目指す。

【社会実験目標】: 路上におけるEVカーシェアリングの社会受容性やカーボンニュートラル、交通利便性向上の有効性把握

## ■社会実験での取組概要

- ・民間事業者を公募し、EV車でのカーシェアリングを実施



▲路上カーシェアリングステーションの整備事例（東京都港区新橋）

×



▲EV充電機器の整備事例（横浜市青葉区）

- ・2050年カーボンニュートラルの実現を目指した「道路におけるカーボンニュートラル推進戦略」にあった取組を推進

①道路交通の適正化

②低炭素な人流・物流の転換

⇒新たなモビリティ・公共交通等、低炭素な交通手段の利用促進

③道路交通のグリーン化

⇒次世代自動車の普及

⇒道路空間における発電・送電・給電・蓄電の取組

④道路のライフサイクル全体の低炭素化

▲道路分野のカーボンニュートラル推進戦略の4つの柱

(出典)道路におけるカーボンニュートラル推進戦略 中間とりまとめ(国土交通省 R5.9)

## ■検証イメージ

- ・EV路上カーシェアリングの社会受容性:カーシェアリング利用者数、歩行者や自動車交通への影響評価 等
- ・カーボンニュートラル、交通利便性向上の有効性:今後の利用意向、他交通モードでのアクセス性評価 等

社会実験  
の狙い

- ・路上でのEVカーシェアリング導入による環境負荷軽減(カーボンニュートラル)
- ・交通利便性向上の強化 ⇒利用者が交通手段を選択しやすい環境構築

京阪神都市圏での  
水平展開を目指す

# 2. 社会実験の目的・概要

## 目的

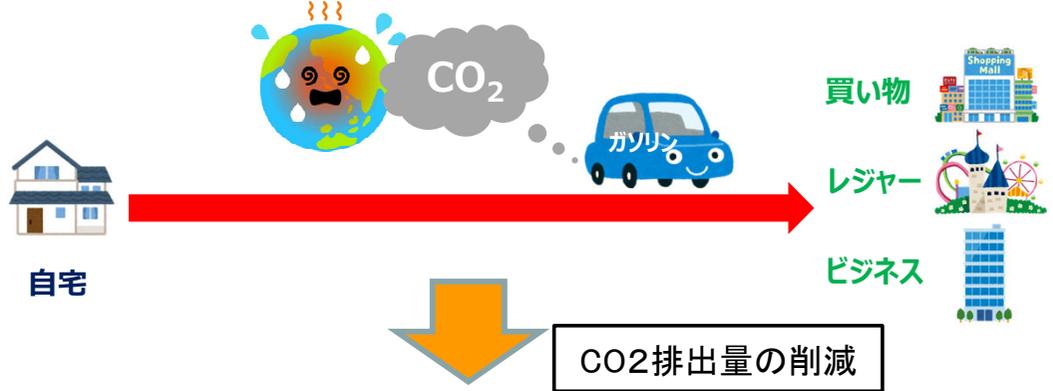
道路分野におけるカーボンニュートラルの取組みとして、JR大阪駅など鉄道駅周辺の国道1、2号の路上にEVカーシェアリングステーションを設置し、鉄道とEVカーシェアリングの組み合わせによるCO2排出の削減や、交通利便性向上、災害時の有効活用等の検証を行う。

## 実験概要

- 実験期間:  
 (I期)令和6年10月1日10時~令和7年12月31日  
 (II期)令和8年1月1日0時~令和9年3月末(1年3ヶ月延伸)
- 実験箇所:大阪府大阪市北区梅田・東天満・福島区福島  
うめだ ひがしてんま ふくしま ふくしま  
 国道1、2号の道路上5箇所
- 運営車両:日産サクラ(EV車)
- 運営方式:ラウンドトリップ方式※1
- 運営時間:0:00~24:00(24時間)
- 実験主体:道路空間を活用したEV路上カーシェアリング社会実験協議会  
 (国土交通省、大阪府警察本部、大阪市、実験参加者、梅田2丁目振興町会、西阪神桜橋商店会、福島連合町会、東天満1・2丁目振興町会)
- 実験参加者:タイムズモビリティ株式会社
- カーシェアリング利用方法:タイムズモビリティ株式会社が運用する「タイムズカー※2」にて予約し、利用。

## レール×EV路上カーシェアリング

### 従来



### EV路上カーシェアリング



※1車を借りた場所と返す場所が同じ方式

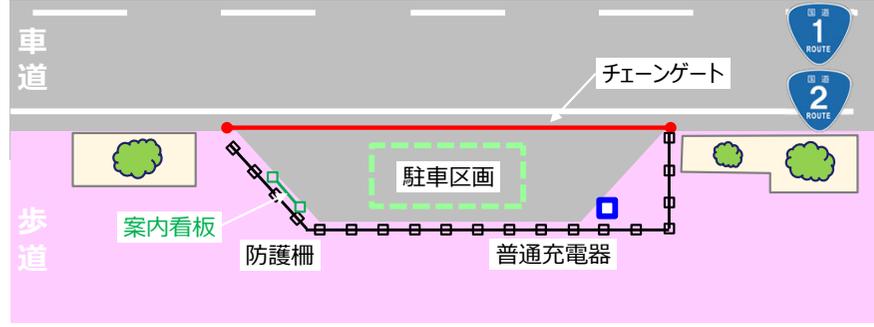
※2利用にあたっては、タイムズカーの会員登録が必要になります。 <https://share.timescar.jp/>

# 3. 社会実験 実験箇所

## 位置図



## 配置イメージ



## 現況写真 (R7.3.26時点)

箇所①



箇所③



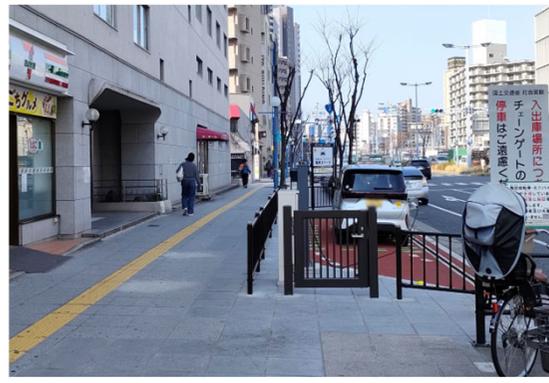
箇所⑤



箇所②



箇所④



社会実験案内看板



# 4. 工事実施前後の現地状況

- 令和6年2月～9月にかけて、EV路上カーシェアリングステーションの設置工事を実施した。
- 植栽帯の撤去、舗装工事、電源工事・充電機器の設置、横断防止柵・門扉・チェーンゲートの設置、案内看板・注意喚起看板の設置等の工事を実施した。

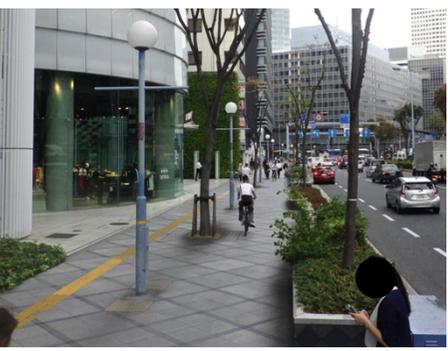
着手前

完成(R7.3.26時点)

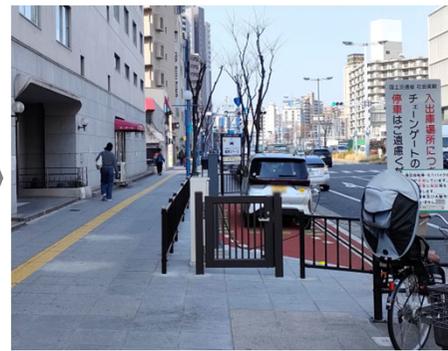
着手前

完成(R7.3.26時点)

箇所①  
大阪  
西梅田



箇所④  
福島  
浄正橋西



箇所②  
福島  
出入橋西



箇所⑤  
東天満



違法駐輪対策でプランター設置  
(第2回協議会時の意見への対応)

箇所③  
福島  
浄正橋東



## 看板関係



注意喚起看板設置状況



社会実験周知看板

# 5. EV路上カーシェアリング利用方法 概要

## 利用手順

①利用予約



④目的地到着



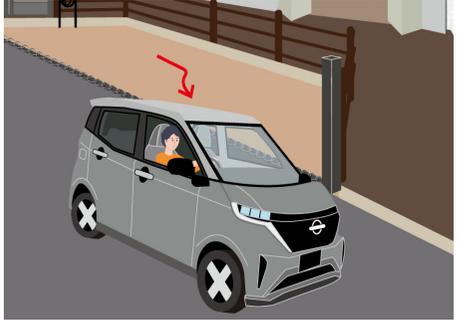
②駅近くで乗換



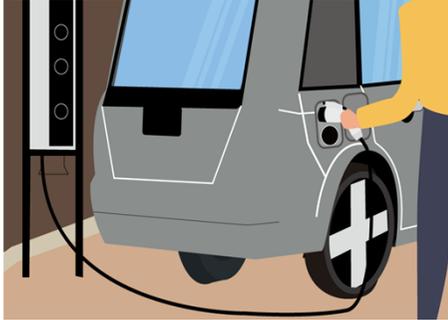
⑤カーステーション帰着



③カーシェアで移動



⑥充電・返却



## EV路上カーシェアリングを活用した移動イメージ



# 6. 実験期間中の運用変更点

- タイムズカーのEV充電のための予約不可時間が短縮された。(令和7年8月26日～)
- タイムズカーの料金改定に伴い、社会実験でのカーシェア利用料金も変更となった。(令和7年12月1日～)

## EV充電時間の変更内容

○最大充電時間を4時間から2.5時間に変更。

### 変更前

- ・利用が8時間以下 → 充電時間: 利用時間の半分
- ・利用が8時間超 → 充電時間: **4時間**

### 変更後

- ・利用が5時間以下 → 充電時間: 利用時間の半分
- ・利用が5時間超 → 充電時間: **2.5時間**

○「タイムズカー」予約画面上での利用不可時間の表示

スクラ

\*実際の貸し渡し車両は写真と異なる場合がございます。

■ : 空きあり ■ : 空きなし ■ : 予約不可 ■ : 制限あり

スクラ  
定員4名/燃料残量: 不明

11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22

空き状況を見て予約

・利用時間(赤色)の後に、予約不可時間(最大2.5時間)が設定される。

## 利用料金の主な変更内容

○時間料金と距離料金の合算に変更。

### 変更前

- ・6時間以下: **時間料金のみ**
- ・6時間超: 時間料金 + 距離料金

### 変更後

- ・6時間以下: **時間料金 + 距離料金**
- ・6時間超: 時間料金 + 距離料金

**※一利用につき最大20km分の距離料金を減免**

○「タイムズカー」料金表(令和7年11月30日まで)

	ベーシック	ミドル	プレミアム
時間料金*1	220円/15分	330円/15分	440円/15分
最大時間料金	6時間まで	4,290円	6,490円
	12時間まで	5,500円	7,700円
	24時間まで	6,600円	8,800円
	36時間まで	8,800円	11,000円
	48時間まで	9,900円	13,200円
	72時間まで	14,300円	18,700円
以降1日毎*2	5,500円	6,600円	7,700円
ナイトバック*3 (18:00-翌9:00)	2,640円	3,960円	5,280円
距離料金	20円/km ・時間料金*4: 6時間を超えるご利用で利用開始時からの走行距離に対して課金 ・ナイトバック: 利用開始時からの走行距離に対して課金		

※ オプションサービスをご用意しております。詳細はこちら

※1 24時間以上のご予約で、実際のご利用が2時間未満の場合は、【ミニマムチャージ】がかかります。詳細はこちら

※2 一部ステーションに限り、オプションサービスにて、最大30日間利用可能です。

※3 ナイトバックはご予約時にお選びいただけます。利用開始後に時間料金からナイトバック、またはナイトバックから時間料金へのメニューの変更はできません。

※4 2025年12月1日(月) 返却日より利用時間に関わらず、20Kmを超えた走行距離に対して距離料金が課金されます。

# 7. 実験参加者での利用促進取組について

➤ 実験参加者のタイムズモビリティ(株)が、鉄道事業者と連携し、社会実験の利用を促進。

時期	内容	
<p>令和6年10月1日                      ↓                      令和6年10月31日</p>	<p><b>EV路上カーシェアリングの告知活動</b>                      (Osaka Metroの全駅・電車内でポスター掲載)</p>	 <p>ポスター                      駅舎内のポスター掲示状況                      (南森町駅)</p>
<p>① 令和6年10月1日                      ↓                      令和6年10月31日</p> <p>② 令和7年4月1日                      ↓                      令和7年12月末                      (社会実験(I期)終了まで)</p>	<p><b>EV路上カーシェアリングを利用した会員に                      鉄道事業者でのポイント等の特典を付与</b></p> <p>① <b>Osaka Metro</b>                      取組に事前登録し、EV路上カーシェアリング利用で                      Osaka Point(100ポイント)を付与</p> <p>② <b>JR西日本</b>                      JR西日本とEV路上カーシェアリングの同日利用で                      WESTERポイント(100ポイント)を付与</p>	<p>① <b>Osaka Metro Osaka Point</b></p>  <p>② <b>JR西日本 WESTERポイント</b></p> 

# 8. EV路上カーシェアリング社会実験での利用促進PR

- EV路上カーシェアリング社会実験において、利用者の促進を図ることや「大阪・関西万博」のPRや機運醸成を目的として、社会実験で使用しているEV車両(全5台)へのミyakumiyakuのラッピングを行った。
- ラッピングは、令和6年12月16日～令和7年10月30日で実施した。

ラッピング対象車両配置箇所

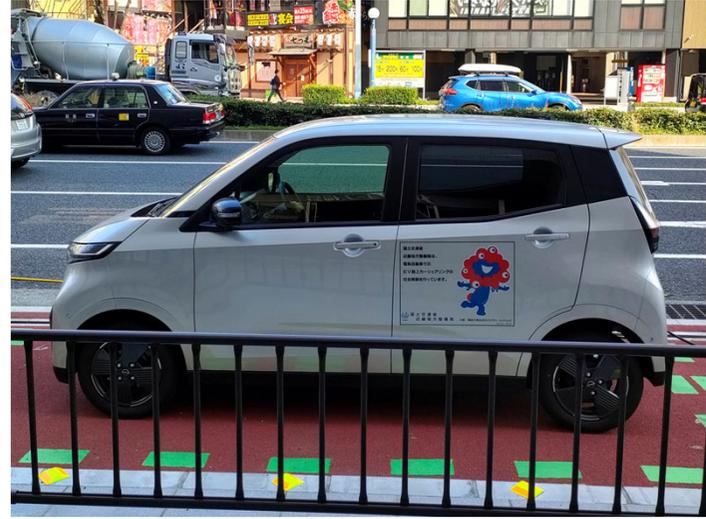


ラッピングレイアウト

国土交通省  
近畿地方整備局は、  
電気自動車での  
EV路上カーシェアリングの  
社会実験を行っています。

国土交通省  
近畿地方整備局  
大阪・関西万博公式キャラクター ミyakumiyaku  
©Expo 2025

ラッピング車両状況



ラッピング撤去後

